

2022年 冬 西の湖 ヨシ刈り会場のようす

猛烈な感染力の第6波(オミクロン株)は、想定を上回る速さで感染が広がり、2年ぶりに準備を進めてきたネットワークでのヨシ刈りは、あえなく中止に追い込まれてしまいました。 本当に残念でなりません。 皆さん、ヨシ原の記憶が薄れつつあるのでは… 今のヨシ原は… ? よみがえらせて下さい。



今シーズンのヨシ原のようすを紹介します。

【2021年12月9日 画像】

いつもと変わらぬ12月のヨシ原のようす。
真っ直ぐに天に向かって伸びきった姿。青空の下、風にゆれる穂がまぶしく輝いていました。
今シーズンこそは… この時、感染症は落ちついていました。



【2022年1月22日 画像】

葉が落ち、穂と茎だけとなったヨシ。ただ、年末からの積雪の影響を受け、折れたヨシが目立っていました。生え際は、いつでもヨシ刈ができるよう刈り取られ準備が整っています。
ところが、オミクロン株が急速に蔓延。2月のヨシ刈りは、やむなく中止に。



【2022年3月9日 画像】

望みをつないだ最後のチャンス。3月のヨシ刈りも感染状況の高止まりが続き、泣く泣く中止に。
地元の方だけで細々と作業が進み、視界が広がるどころまで刈り取られましたが、やはり人数不足。はかどりません。



【2022年3月24日 画像】

ヨシ焼き前日、ヨシ原を訪れると最後の刈り取り作業の成果が並んでいました。
最終的に刈り取り面積は、約2,000㎡ほど。
ネットワークでの刈り取りの1/5ほどに留まりました。
お疲れ様です。
後はヨシ焼きを待ち、春の新芽をうながすだけです。



『刈り取られたのは1/5ほどでした』



『焼き払われたヨシ原』



『よみがえるヨシ原』

長年続けてきた 多様な主体がつながるこの活動を 絶やさないために！

ぜひ、再開時は 変わらぬご支援をお願い致します。

《今シーズンの測定結果》

ヨシ 高さ : 391 cm

刈り取り面積 : 2,000 m² (画面白線内)

CO₂ 回収量 : 3.5 トン/CO₂



【2022年3月25日 画像】

西の湖一帯のヨシ焼きが一斉に始まりました。
刈り残したヨシをすべて
焼き払うヨシ刈りシーズの
終わりを告げる
伝統的な風物詩です。



【2022年4月17日 画像】

新たな新芽が芽吹き、新緑に染まる季節の始まりです。
多くの生き物を育みながら成長するヨシ原で、
冬には多くの仲間がヨシ刈りで賑わう姿を想像して下さい。



コロナにほんろうされたこの2年間でした。
次のシーズンこそ、3年越しのヨシ刈り活動が
再開できることを祈るだけです。